

## 令和4年度みや保育園 保育所評価

本園の保育へのご理解・ご協力ありがとうございます。

去った12月に保護者の方からいただいたアンケートと保育士各自に行った保育士アンケートを基に保育所評価を行いましたので結果を公表いたします。

今年度はコロナ禍の中での保育で保護者の皆様にも多大な不安とご心配もおかけいたしました。

又開園年度で職員・子ども共々新しい環境での生活に不慣れな点もあり、課題も多い年度でした。

それでも保護者の皆様からご意見をいただきそしてご協力いただいたことにより

子どもたちの育ちを喜べる環境を作ることが出来ましたことを感謝申し上げます。

今年度の評価、改善点を次年度につなげ地域の中の保育園となれるよう努力していきますので

今後ともよろしくお願い致します。

みや保育園園長 宮里

## 評価項目の達成及び取組状況

| 項目   | 内容   | 評価 |
|--|--|----|
| 保育理念   | 園の保育理念、保育目標を把握している。  | A  |
|  | 一人一人のありのままの姿を受け入れることができている。                                  | A  |
|  | 子どもたちの中に人を信頼する気持ちが育つような関わりをしている。                             | A  |
| 子どもの発達援助                                     | 健康・安全で心地よい生活の場で子どもの健康管理を実施している。                              | A  |
|  | 乳幼児にふさわしい食生活環境の工夫と食育を展開している。                                 | A  |
|  | 検診・検査の結果を保護者に報告するとともに保育に反映している。                              | A  |
|  | 子ども観・発達観の理解と共有が図られ発達過程に応じた保育を実施している。                         | A  |
|  | 支援を必要とする子どもが安心して生活できる保育環境が整備されている。                           | A  |
|  | 長時間にわたる保育のための環境整備、保育の内容や方法が配慮されている。                          | B  |
|  | 保育所の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達を促すよう配慮している。               | A  |
|  | 指導計画を適切に作成し、定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。                           | B  |
|  | 子どもに関する記録を適切に行っている。  | A  |
|  | 一人一人の子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している。                               | A  |
|  | 各年齢の保育において、養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境を工夫している。                   | B  |
|  | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような環境を整えている。                   | A  |
|  | 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるように環境を整えている。                 | A  |
|  | 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができる環境を整えている。                 | A  |
| 子どもが主体的に身近な自然や社会と関わられるような環境を整えている。           | B  |    |
| 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できる環境を整えている。 | A  |    |
| 保護者支援  | 子育てのパートナーとして「保護者の子育てを支援する」という役割を常に意識している。                    | A  |
|  | 保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育に活かしている。                                  | A  |
|  | 連絡帳やクラスノートなどで日常の子どもの様子を伝えあっている。                              | A  |
|  | 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。 | A  |
| 保育基盤   | 緊急時(事故、感染症の発生時など)や災害が起こった時、どのように対応するかを知っている。                 | A  |
|  | アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。              | A  |
| 総合評価   |  | A  |

- S. 十分できている  
A. おおむねできている  
B. やや不十分  
C. 改善を要する

## 【保育所評価 総合結果 A】

- 職員が保育理念、保育目標について理解しようとして研修等にも積極的に参加することが出来た。
- 一人一人を受け止めながら個々の発達過程を理解し、保育を展開しようとして努めることが出来た。
- 給食会議等も取り入れ各年齢に応じた食育を計画推進することが出来た。
- コロナ禍の中で感染症対策に注意を払い、保育室や玩具の衛生対策を日々行い、健康管理に努めることが出来た。
- 園庭に季節の花を植えたり野菜を育てたりして、自然に触れ合いながら遊び、発見や気付き等、知的好奇心を育てることに工夫することが出来た。
- 散歩や園外活動も積極的に取り入れ身体の発育を促す事を計画しながら保育することが出来た。
- 保護者の意見に耳を傾け、気持ちに寄り添っていけるように努力することが出来た。
- 子どものみならず保護者にも積極的に声をかけコミュニケーションを取るよう心がけることが出来た。

## 【今後取り組むべき課題】

- コロナ禍の為、行事が開催できなかつたり子どもの成長を見て頂く機会が持てなかつたので、引き続き感染症対策に留意しながらも保護者や地域の方との交流も計画していく。
- 保育の様子や育ちをコドモンや園だより等を通してわかりやすく伝えていけるよう工夫していく。
- 子どもの育ちを保障するための日々の記録や指導計画をしっかりと作成し、保育に活かせるように職員体制を工夫していく。
- 安心・安全な保育を行う事を常に意識しながら子どもに向き合っていく。
- 保護者の想い等も保育に反映できるよう意見箱等の設置や気軽に話し合える雰囲気作りに努める。
- 職員間の話し合いや共通理解をしっかりと行い、チーム保育を進めていく。
- 子どもの育ちに必要な玩具や環境を整え、子どもが主体的に活動できるようにしていく。
- 地域とのかかわりも深めて子育て支援にも力を入れていけるようにする。